

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年4月18日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4679100166
法人名	有限会社 ソフィア・インター・ナショナル
事業所名	グループホーム 港ヶ丘
所在地	鹿児島県大島郡徳之島町亀徳2239番地 (電話) 0997-81-1215
自己評価作成日	平成28年3月7日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成28年3月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

理念にもあるように、入居者一人ひとりのあるがままを受け止め、個性を尊重し決して無理強いすることなく過ごして頂いている。
職員同士も連携を取り、日々学び創意工夫しながら入居者に接している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・事業所は市街地から離れた坂の上に位置して見晴らしが良く、周囲には「なごみの岬」や散策コースがあり、事業所の窓からは朝日を望む事ができる景観の良い場所にある。
- ・利用者の排泄リズムを把握し、定期的な声かけや誘導をすることで、紙パンツの使用が減り排泄の自立への取り組みがされている。
- ・職員は母体法人のグループホーム協議会や施設間研修、それ以外の研修にも積極的に参加し、サービスの質向上や自己研鑽に取り組んでいる。
- ・職員間のチームワークが良く、職員はやりがいを感じながら、日々、利用者中心の理念に即した認知症ケアが実践できている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念の意味を理解し日々のサービス提供に反映させるように努めている。	毎日、理念を唱和して意識付けを行いながら、日々、利用者がゆったりのおんびり暮らせるように、利用者のあるがままを受け入れて、本人らしい生活が送れるように支援している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域の行事、入居者の地元へドライブに出掛けたりして地域との交流をしている。	近隣の小学校の運動会見物や地域の祭りへの参加、地域ボランティアの訪問で三味線を披露してくれたり、面会や外出時の挨拶等、地域交流が行われている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	いつでも施設の見学ができるように対応して実践経験を地域に還元する取り組みを行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回運営推進会議を行っている。入居者近況報告、意見交換で出た内容を職員が共有しサービス向上に活かしている。	定期的に会議を開催し、事業所の活動や利用者状況報告・運営上の問題について意見交換している。収集癖のある利用者の問題行動についても会議で話し合い、本人の自由にしてもらい、職員でそっともとの場所に戻すなど、サービス向上に繋げている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	毎月、利用状況を三ヶ町に情報提供している。電話や運営推進会議で実情を伝えている。	各町の役場には、毎月更新時の手続きやケアプラン提出時に利用者と運営上の相談事を行い意見交換をしている。研修会等に参加して日頃より協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束を行わないという姿勢で日々のケアを提供している。外部からの侵入防止の為、夜間のみ玄関の施錠と入居者の状態により転倒防止の為のベッド柵をしている。	玄関の日中の施錠はなく、見守りの中、利用者が自由に入出りできるように支援し、一緒に付き添って外出したりしている。身体拘束廃止の研修では、ミーティング時にマニュアルに沿って研修をしている。拘束について具体的事例を出して職員間で共通理解している。制止や指示・命令的な言動も行わないように努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の資料など参考にしたり職員同士、困っている事を話し合っって虐待につながらないように注意を払い防止に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>研修などあれば積極的に参加するが権利擁護に関する研修の場や機会があまりない。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時は利用者家族にケアの方針や取り組み状況等について説明し同意を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者の暮らしぶりや健康状態、受診状況、金銭管理状況、職員の異動等、定期的に家族へ報告し意見交換や要望を聞き運営に反映できるようにしている。意見箱を設置している。</p>	<p>毎月、家族に日誌を送って利用者の状況について細やかに報告し、家族から意見や要望が出やすいように努め、面会時には事務所で家族と話をしている。家族から要望があった場合は、職員で話し合い対応するようにしている。意見箱もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	月に1回、職員会議を開き利用者の事、施設に関する意見交換を行っている。	毎月の職員会議で職員の意見を聞き、利用者についてや施設の運営上の事等について話し合い、必要時は管理者が母体法人に相談を行い、設備の改善や業務改善・処遇改善を行っている。職員から要望があり、家庭用の浴槽へと取替が行われ、個浴ができるようになった。意見を利用者に対するサービス向上に反映させている。個人的にも相談に応じている。	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	健康診断を年2回実施し職員の健康状態の把握やスムーズに業務を行い定時に帰れるように職員同士連携をとり職場の環境整備に努めている。		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	島内での研修にはできるだけ参加し職員各自がスキルアップできるように努めている。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	勉強会での交流や各職員が知り合いの同業者から得た情報で支援や向上できる内容であれば実践に取り入れ質の向上に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居者。家族の方にホームの事を知っていただくために、いつでもホームを見学していただき要望等を聞き安心して入所していただけるようにしている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族の要望に応えられるよう、事前に話しを聞き電話や面会の際に現状報告を行い新たな要望を聞いている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>事前に十分に話し合い入居者が必要としている支援ができるようしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員は、入居者の残存能力や思いを共に共有し、安心して生活が送れるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会や外出、電話でのやり取り等で本人の要望など聞いてもらい精神面での協力をいただいている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	生活していた場所、馴染みの場所、又親族、友人が住んでいる場所へ、ドライブに行ったり要望に応じている。	墓参りや馴染みの美容室への外出は家族に協力して貰い、家族と一緒に外食に出かけたりしている。自宅に帰りたい要望があれば、職員が用事で外出する際に一緒に出かけたり、島外の家族が帰省した際は、外出や外泊を支援し、これまでの関係が継続できるように工夫している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	会話やレクリエーションの中から個性をうまく引き出し席替えをしたり入居者同士がかかわり合えるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	本人、ご家族の方に会った際に様子を聞いたりして関係を断ち切らないようにしている。現在、退所後も家族の方が遊びに来て下さっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の会話や表情、仕草から本人の思いを感じ取り、どうしてほしいのか把握に努めている。	会話の中でできるだけ本人の思いや要望を聞き取り把握している。表現できない利用者は、家族からこれまでの生活状況等を確認しながら、普段の表情や仕草・反応から思いの把握に努め本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に家族や以前のサービス提供先から情報収集を行い本人に必要なサービスが提供できているか経過の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	共同生活の中で本人の生活スタイルをなるべく維持し本人らしさを十分に発揮できるように現状把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族、看護師と話し合いを持ち現状報告しながら意見やアドバイスをもらい本人の意向に沿った介護計画を作成するようにしている。	本人や家族からの希望を聞き、関係者や職員で話し合いをして介護計画を作成している。毎月、ケアチェック表などから職員会議を兼ねて、利用者の状況について評価し、3ヶ月毎にモニタリングを実施している。状況変化時はその都度計画を見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子を介護日誌や個別日誌に記録し職員全員が共有することにより実践や介護計画の見直しに役立っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>状態に合わせてドライブや買い物等一緒に行き要望に応えられるようにしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>同系列施設での催し物への参加や地域での行事見学等、楽しんでもらえるよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>月1回の訪問診療、定期的な訪問看護、異変時の病院受診は本人。家族の納得のうえで適切に医療を受けられるように病院との連携もとれている。</p>	<p>かかりつけ医は母体法人の医療機関である。定期的に訪問診療や訪問看護を導入し、必要時の連携が図れている。訪問歯科診療も受け入れ、他科受診や緊急時の受診等は、家族が行い、無理な場合は職員が対応し、適切な医療が継続できるように支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>本人の状態の変化を随時、訪問看護師に電話で相談し適切な受診や看護が受けられるように支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入居者が入院した場合には病院のソーシャルワーカーと常に連絡を取り合い相談や情報交換、又退院に向けて話し合いをしたりしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合や終末期のあり方については入所時の説明で行っており、本人家族も納得している。その際にはグループ内の他の施設に入所の依頼をしたりの支援を行っている。</p>	<p>家族には重度化や終末期の対応について施設入所時に説明を行っている。医療機関への入院や今後、家族からの要望や協力があれば、医療機関との連携を十分に図りながら、看取りができる体制について検討する方向である。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>毎年1回消防士に、救命訓練やAEDの使用法についての講習を受け急変や事故発生時に備えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年1回、火災や地震、水害を想定した避難訓練を全職員と近隣住民の方にも参加を呼びかけて行い協力体制を築いている。</p>	<p>今年度は10月に町の合同避難訓練に参加し、近隣住民の協力も得られている。スプリンクラーは設置済みである。消防署の協力の下、AED訓練も実施しており、台風等襲来時期には、早目に食料の事前備蓄や備品の確保・危険個所の点検・機材の準備等を行い、災害対策が図れている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者への尊敬や敬意を持ちプライバシーを損なわないよう言葉かけには十分注意を払い対応を心がけている。	指示・命令口調にならないように利用者にはさん付けで丁寧な言葉使いの対応を行い、職員同士でも注意し合っている。失禁した場合も周りに気付かれない様に声かけをして対処し、さりげなく支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常会話の中で入居者の方に思いや希望をさりげなく聞きだしたり、したい事の自己決定ができるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの、その日の体調や要望に沿って、過ごして頂けるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	日々の整容、入浴時や出掛ける際の衣類の選択や定期的な散髪等で身だしなみを整え、おしゃれを楽しんでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	楽しく、美味しい食事の時間になるよう、味付けや季節感に工夫をしている。調理の下ごしらえや後片付けも職員と楽しみながら行っている。	利用者と一緒に野菜の下処理や洗い物・台拭き・片付けなど、無理のない範囲で食事の準備を行っている。行事食や旬の野菜で季節を感じさせたり、好きなメニューの要望に応えたり、食事が楽しめるように工夫している。家族と一緒に外食にも出かけている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスに気をつけ一人ひとり状態に合わせ食べる量を把握し水分量記録も行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、声掛けをし歯磨き誘導、口腔内、義歯の仕上げ磨きは職員が行う。歯科との連携もとれており不具合の訴えがあれば歯科に訪問に来てもらう。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	夜間ポーターブルトイレ使用の方も日中はトイレ誘導し排泄の失敗やおむつの使用を減らし自立に向けた支援を行っている。	排泄チェック表で利用者毎の排泄パターンを把握しながら、日中はできるだけ布パンツでトイレ誘導を行っている。紙パンツの使用を減らせるように取り組み、排泄の自立支援が実践できている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排尿排便のチェックと便秘の原因や及ぼす影響を理解し水分摂取、身体を動かすことの働きかけ等個々に応じた予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	一人ひとりの体調チェックをするとともに浴室の環境を整え安心して入浴していただけるよう努めている。本人の希望があればいつでも入浴できるように心がけている。	週3回の入浴日を定めているが、利用者の状態や要望により個別対応での入浴支援も行っている。浴槽を取り換えたことで入浴ができるようになった。拒否する利用者には声かけのタイミングや対応を変えながら、無理強いせず気持ち良く入浴できるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動の中で散歩や体操・ゲーム等を取り入れ休息や安眠が取れるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの薬の効用と副作用を理解し薬の準備や服用時の確認をしている。薬の変更時には全職員へ周知し症状に変化等あれば主治医へ相談している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>季節行事への参加や誕生会等楽しむことで気分転換を図っている。調理等の家事手伝いを本人のできる範囲で役割を持たせ活力のある支援に努めている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>近所の散歩やドライブ等、本人の希望に添えるように努めている。家族の方にも外出の協力をいただいている。</p>	<p>日常的には近隣の散歩や買い物と一緒に出かけている。数人ずつに分けて花見等のドライブを行っている。要望がある場合は家族の協力も得ながら、日常的に外出できるように支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>家族からお小遣い程度を事務所に預かり、本人の希望があれば日用品や衣類等購入している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族や知人との電話、手紙のやり取りは、制限することなく自由に支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間は不快や混乱を招かないように配慮し安全で快適に過ごせるように工夫している。又、季節ごとに壁絵や写真、生花を飾り季節感を感じれるように工夫している。	リビングでは、利用者が馴染んでいる島唄などの音楽を流しながら、天候に応じてこまめに室温調整を行い、壁絵や季節ごとに写真・花を飾っている。廊下のベンチに腰掛け日光浴なども楽しんでいる。居心地良く過ごせるように工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ゆっくりと過ごせるように廊下に椅子を置いたり、窓から海を眺めたり日光浴を楽しめるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や寝具等を持ち込み本人の意思を尊重し要望を聞きながら配置を決めたり写真を飾ったりして居心地良く過ごしてもらえるように工夫している。	自宅で使っていたタンスや仏壇・遺影などを持ち込み、落ち着いて過ごせるように支援している。壁には本人の要望を聞きながら、家族の写真を貼ったり好きな飾りつけをして、居心地良く過ごせるように工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	家事手伝いやレクリエーション・余暇活動が、一人ひとりの状態に合わせて日々、安全で自立に向けた生活を送れるように工夫している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない